

# 医療法人清風会茨木病院 看護部教育体制

# 看護部理念

患者さん一人ひとりを尊びいづくしみ、安心できる環境の中で全人的に関わり、セルフケア能力の向上及び成長の促進を図り、よりよく生きることを支援します。

## 看護部教育目的

1. 看護倫理に基づいた行動がとれるように人間性豊かな感性をはぐくむ
2. 科学的根拠に基づいた看護実践能力を育成する
3. 自分の潜在能力や可能性の成長を信じ、自分も学びつつ、学ぶ人を応援できるマインドセットになる

# 看護部教育目的

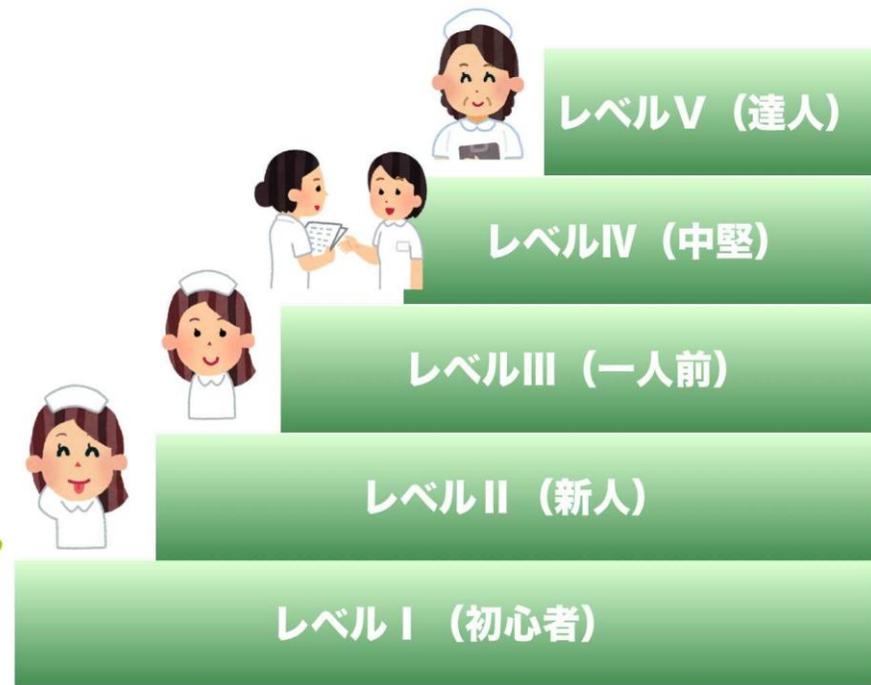
- 1.看護倫理に基づいた行動がとれるように人間性豊かな感性を育む
- 2.科学的根拠に基づいた看護実践能力を育成する
- 3.自分の潜在能力や可能性の成長を信じ、自分も学びつつ、学ぶ人を応援できるマインドセットになる
- 4.考えや思いを正確に表現し、伝えることのできる力を育てる
- 5.看護師としてだけでなく、一人の「ひと」として豊かな人生を送ることができる

# クリニカルラダー

## パトリア・ベナーの言葉



看護師にとって重要なのは、  
「経験年数」ではなく、  
「**経験の質**」である。



・ベナーの示す5段階（**経験年数によらない**）

ステージ1 初心者 Novice	状況に関する経験がなく、対象者の表す状態からその状況を知り、臨床状況での経験を積むために原則通り行動する段階
ステージ2 新人 Advanced Beginner	かろうじて及第点の業務をこなすことができる段階 「繰り返し生じる重要な状況要素」に気づく（あるいは指摘により気づく）ことができる
ステージ3 一人前 Competent	意識的に立てた長期の目標や計画をふまえて自分の看護実践をとらえはじめる段階 現在および予測される将来の状況で何が重要かを判断できる
ステージ4 中堅 Proficient	状況を長期的な予測もふまえて全体としてとらえることができる段階 状況の理解は思考よりも経験によるものが多い
ステージ5 達人 Expert	状況について膨大な経験から瞬時に判断し、正確に問題領域を絞ることができる段階

# 看護実践能力を構成する5つの力

日本看護協会は

**「意思決定を支援する力」**

**「ニーズを把握する力」**

**「協働していく力」**

**「ケアを行う力」**

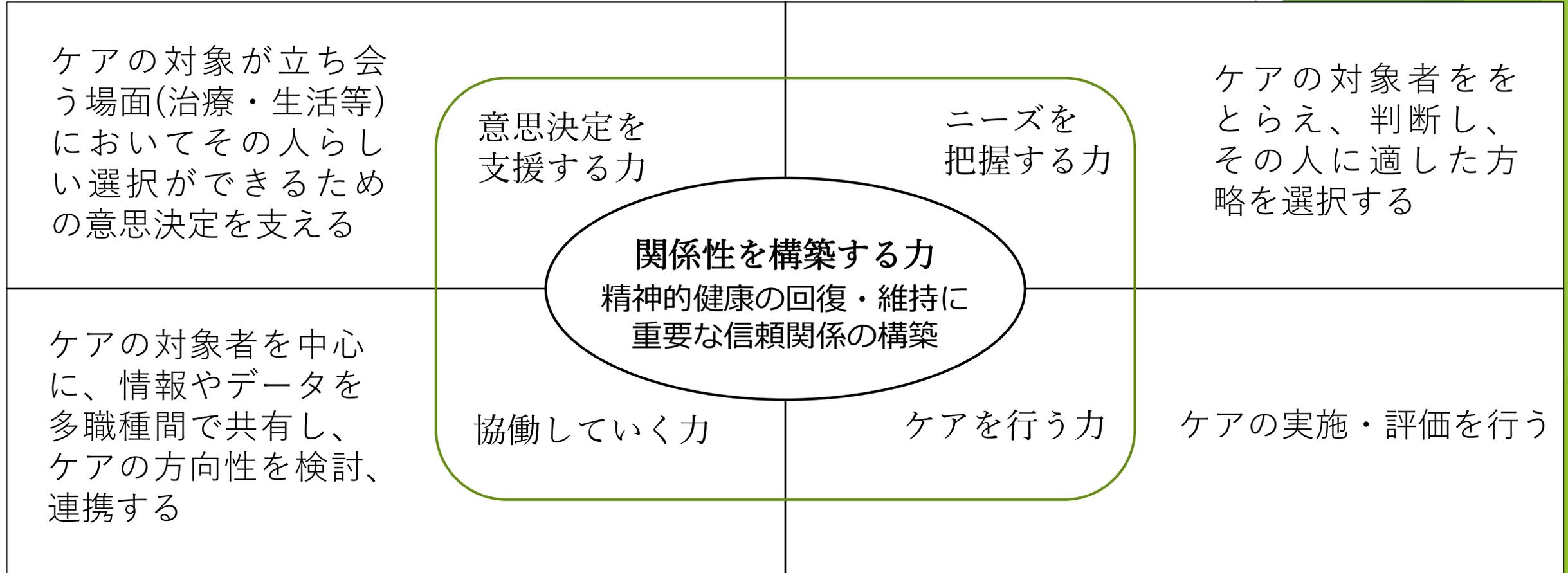
の4つの力をクリニカルラダーを構成する基盤としています。

日本精神科看護協会では、その4つに

**「関係を構築する力」**

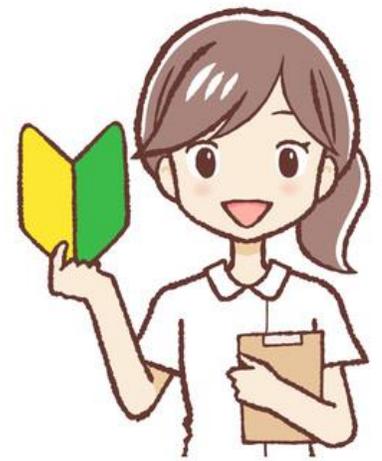
を加えた5つの力を構成の基盤とします。

# 看護実践能力を構成する5つの力



# クリニカルラダー

## レベル I



### 《レベル I の定義》

基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する

### 《レベル I 到達目標》

- 基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら、安全に看護を実践できる。
- 部署のマニュアルを活用し、看護を実践できる。
- 自己の教育的課題を発見し、主体的に学習できる。
- 社会人として、組織の一員であることを理解し、職場のメンバーとしての役割を全うできる。

# クリニカルラダー レベルⅡ



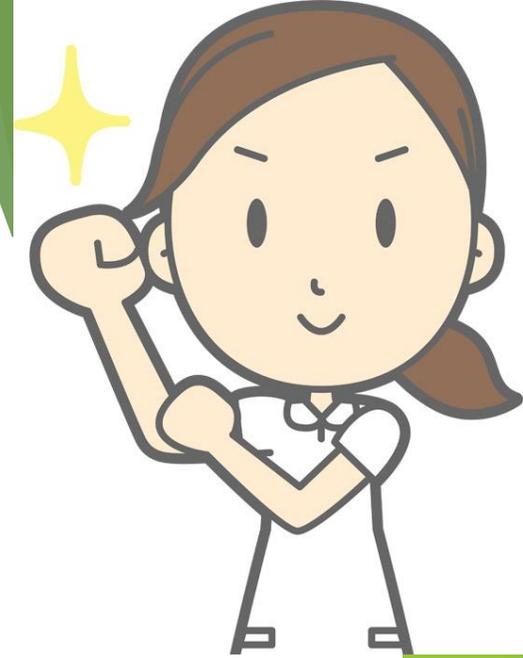
## 《レベルⅡの定義》

標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する

## 《レベルⅡ到達目標》

- ・ 根拠のある判断、看護実践ができる・対象者の希望を踏まえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる
- ・ 自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することが出来る
- ・ 判断に迷う時は、自ら他者に相談し、メンバーシップを発揮して看護を展開出来る
- ・ 対象者との関わりの中で自身の課題を明らかにすることが出来る
- ・ 法人の理念や方針を理解し、組織の一員として、自覚ある行動が出来る
- ・ コスト意識を持つことが出来る

# クリニカルラダー レベルⅢ



## 《レベルⅢの定義》

患者に合う個別的な看護を実践する

## 《レベルⅢ到達目標》

- ・ 対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践出来る
- ・ 自身の課題を克服しようとする取り組み、自身の強み、弱みを意識して、自身の持ち味を生かした看護が出来る
- ・ 自己の教育活動に積極的に取り込むことが出来、指導的役割も意識して行動することが出来る
- ・ 組織の一員として、効果的かつ効率的に業務を行えるよう、メンバーや多職種と協働出来る
- ・ 看護部や病棟の目標達成に取り組むことが出来る

# クリニカルラダー レベルⅣ



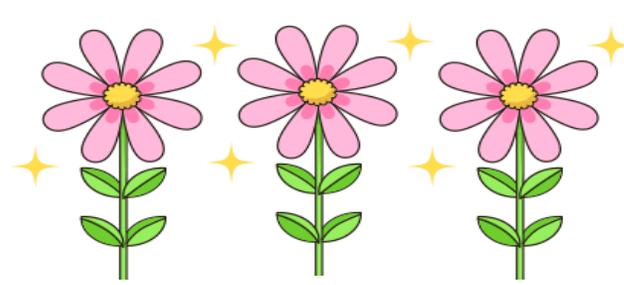
## 《レベルⅣの定義》

**幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する**

## 《レベルⅣ到達目標》

- ・ 全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断を持って、対象者中心の看護を実践出来る
- ・ 対象者の満足度を高めるために、チーム全体の動きを把握し、リーダーシップを発揮した行動が出来る
- ・ 医療全体を理解するために、広い視野で必要な知識を獲得できる
- ・ 精神科医療の現状を踏まえて、自分の役割を理解して、業務が効果的かつ経済的に効率よく行えるようスタッフに指導的に関わることが出来る
- ・ 看護部や病棟の理念と方針を踏まえて自己の役割を考え、主体的に行動できる

# クリニカルラダー レベルV



## 《レベルVの定義》

より複雑な状況において、患者にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する

## 《レベルV到達目標》

- ・より複雑で対応困難な状況に置いて、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる
- ・役割モデルを意識しながら指導にあたり、現状にとどまらず、対象者のために看護を追求し続ける姿勢を持ち、創造的な看護実践を行うとともに、多職種と協働出来る
- ・対象者を尊重できる看護職の育成に関わり、広い視野で教育的な役割をとることができる
- ・精神科医療の現状および所属施設の理念や部門の目標を理解し、積極的に職場の改革に参画し、看護の質向上のために変革的な行動ができる





# 茨木病院看護部教育委員会

基本的には、新人から4年目を対象に

**「判断力と協働力のある看護師」**

**「Dr、Ns、コメディカル、患者・家族へ意見を言える看護師」**

の育成を目指して、

**「プレゼンテーション能力を高める」**

ことをテーマに研修をしています。

しかし、研修の内容は経験年数に関係なく受けていただいて吸収できるものが多いものとなっていると自負しています。



# プレゼンテーション能力を高めよう

## 《1年目研修》

看護師として一番気になる「急変」に関わるテーマを毎回設定し、担当者による講義を受けながら、グループワークを中心に展開していきます。

グループワークの中で、自分の意見を言葉で表出し相手に伝えること、相手の意見を聞き、その思いや考えを理解することで様々な価値観を受け入れる素地を育てます。

## 《2年目研修》

1年目研修と違い、毎回受講者にテーマを与えます。

そのテーマに沿ったそれぞれの考えをレポートに書き上げて期日までに担当者へ提出する。研修当日に発表して、受講者内で質疑応答を行う。

1年目研修と違い、与えられたテーマについてじっくりと時間をかけて自分の考えをまとめ、文章に表出することで、まずは自身で自分の考えを客観視することができます。

そして、それを発表し合うこと、質疑応答をしながらでひとつの物事（テーマ）に対して色々な角度から見ることを意識できるようになる。

# プレゼンテーション能力を高めよう

## 《3年目研修》

実際にプレゼンテーションをしていきます。

研修担当者よりテーマと発表時のルールが与えられ、それに沿って受講者がプレゼンの内容を考え、作成してきます。2年目研修と違い、自分の考えや思いだけでなく、プレゼンを受ける相手にどうやって伝えていくのかを考える力をつけていきます。

患者・家族の思いを代弁したり、カンファレンスで自分の考えを述べたり、医師に対して提言する、医師の指示やコメディカルスタッフからの伝達事項などを、病棟内で指示を出す、正確に申し送ることなどあらゆる看護実践の場面でプレゼンテーション能力が必要となります。そういった力を育てていきます。

## 《4年目研修》

プレゼンテーションの最終段階として、新入職の新人看護師へ「統合失調症」など、精神疾患についての講義をしてもらいます。

# 教育委員長による研修

# ～精神科看護基礎研修～

『自己理解』：類人猿分類①

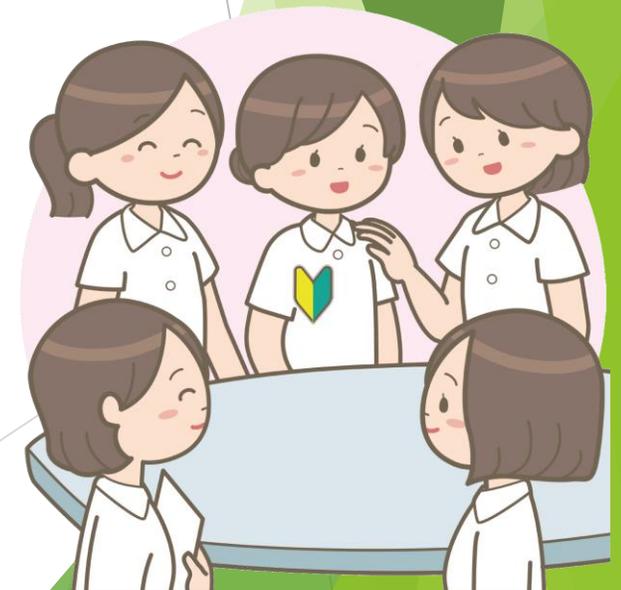
類人猿分類②

自己理解ワーク

『家族看護』：こころを病む人を支えるコツ

『精神科看護援助論』：

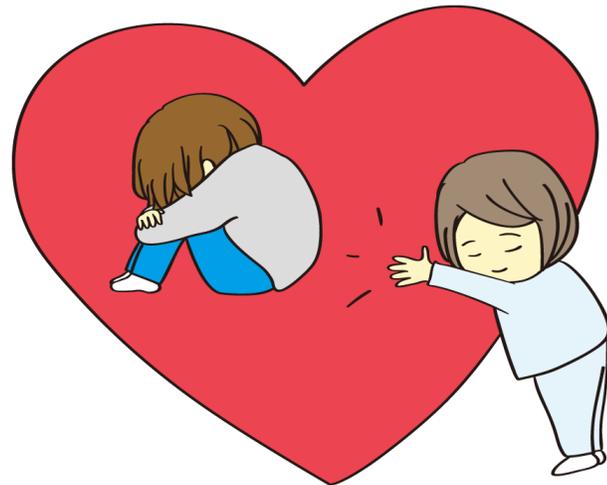
- ①不安・睡眠障害・幻覚・妄想
- ②強迫儀式行為・鬱・躁・拒否否定・攻撃
- ③昏迷・依存・引きこもり・てんかん
- ④水中・摂食・BPD・解離
- ⑤せん妄・認知



# 教育委員長による研修 ～精神科看護基礎研修～

## 《精神科医による研修》

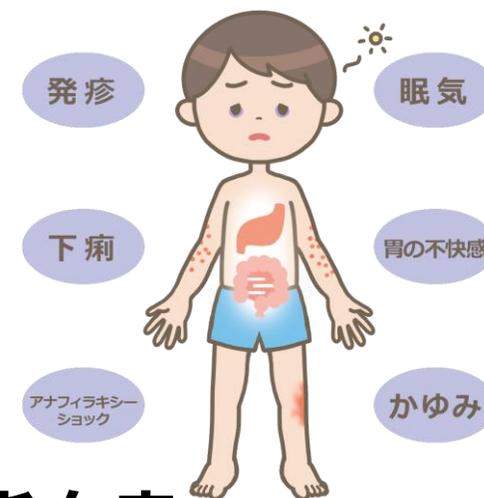
当院の精神科医が、様々な精神疾患を抱える患者さんの「こころの内側」や「みえている世界」について教えてくれます。



### 《抗精神病薬の身体的副作用の研修》

精神科では、「こころ」だけを見るわけではありません。こころと身体の両方をみていくことができないと精神科看護はできません。

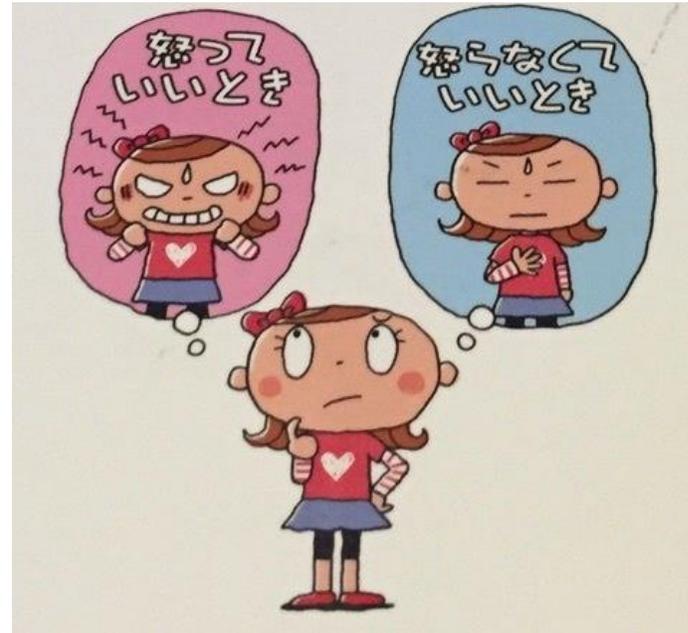
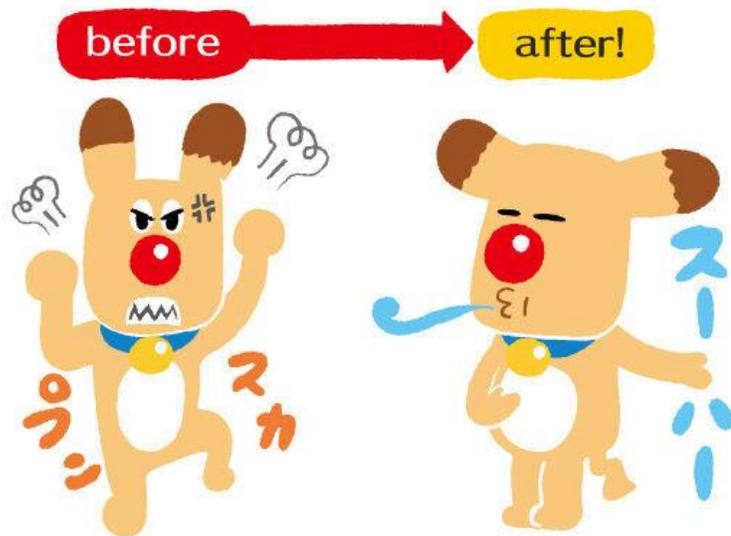
- ①循環器系：不整脈、肺動脈血栓塞栓症
- ②呼吸器系：誤嚥性肺炎、肺結核
- ③消化器系：麻痺性イレウス、急性胃拡張、  
バクテリアル・トランスロケーション、
- ④内分泌・代謝系：メタボリックシンドローム、肥満、高脂血症、  
肥満を介さない代謝障害(ヒヨント・メホリックシントローム、水中毒、  
悪性症候群、横紋筋融解症、高プロラクチン血症)
- ⑤神経・運動器系：錐体外路症状、骨折
- ⑥免疫・アレルギー反応：皮膚疾患とアレルギー、顆粒球減少症



# 教育委員長による研修 ～3年目対象研修～

## 《アンガーマネジメント》

精神科看護の仕事は、感情を揺さぶられることの多い仕事です。自分の感情の中で「怒り」の感情をコントロールする術を学び、患者・家族のみならず、同僚やプライベートの人間関係の中で、「怒りによって後悔しない」人生を送れるようになっていきます。



# 教育委員長による研修 ～4年目対象研修～

## 《マインドセット研修》

自分の性格（パーソナリティー）だと思っているものの多くが、実はこの心のあり方（マインドセット）の産物です。そのマインドセットをしなやかなものにし、豊かな人生を送れるようにしていきましょう。

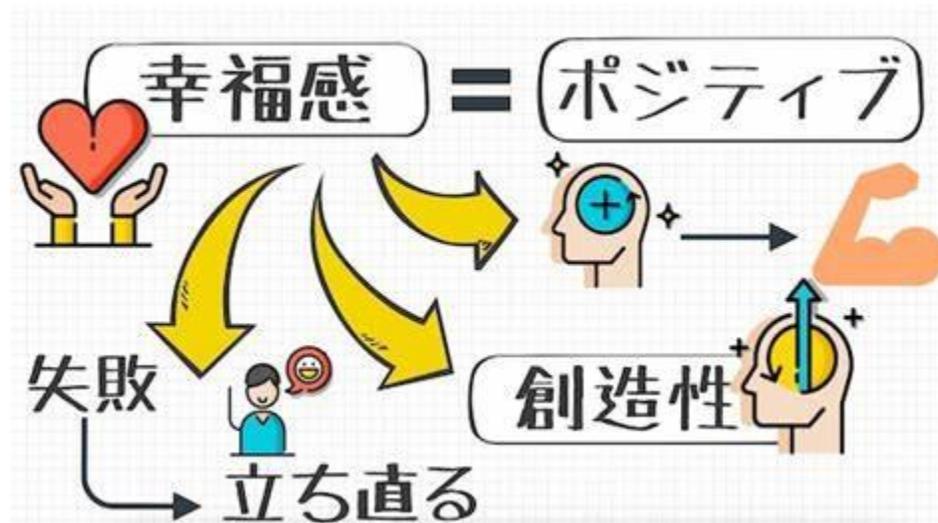


マインドセットとは？

# 教育委員長による研修 ～4年目対象研修～

## 《ポジティブ心理学研修》

「努力すれば成功する。成功すれば幸せになれる」。実はこの図式は成り立ちません。幸せは成功に先行するものです。幸福感そのものが競争力の源泉となります。この力を「ハピネスアドバンテージ（幸福優位性）」と呼びます。研修を通して看護師としてだけでなく、一人の人間として、幸せな人生を歩んでいきましょう。



# その他の委員会による研修

- ◎ 看護記録委員会：看護記録の書き方
- ◎ セーフティナース委員会：手指衛生、PPE（個人防護服）、各種感染症対策
- ◎ 救命救急委員会：異物除去、縫合処置解除、ACLS
- ◎ 主任会：セルフケア理論研修
- ◎ PST（プリセプターサポートチーム）：看護技術研修

